

23 『華表美談 宍道湖嫁島』を読む

【全3回】／開催方法：現地

おかざきひでき
岡崎秀紀

島根大学教育学部嘱託
講師
松江バルトン会幹事



受講料 一般料金：¥5,800 早割価格：¥4,800 (納入期限：5月23日)

【日程】【全3回】 1回／月 第4土曜日
(5/28、6/25、7/23)

【時間】13:30～15:00

■受講に必要なもの

『華表美談 宍道湖嫁島物語』 編著者：岡崎秀紀 出版年：2022.4

華表とは鳥居のことです。明治39年松江を初めて訪ねた田邊朔郎博士（京都帝大教授、琵琶湖疏水設計・監督者）は、教え子の案内で嫁島に上陸、島の竹生島神社の木造鳥居が老朽化しているのを見て、石造鳥居の寄進を即決します。翌40年3月に完成し、5月には東宮（後の大正天皇）もご覧になりました。地元の乃木灘戸主会は、田邊の献納を美談として後世に残すべく、宍道湖嫁島の歴史、文学、景観、治水なども取り入れ、『華表美談 宍道湖嫁島』という本を、建立から20年後の昭和2年に刊行したのです。この本は、手書きのガリ版刷りであったので、所蔵されている原本は、県内外で3冊しか確認できていない稀覯本となっています。

松江市民にとって、貴重なこの文献を、この度活字化し解説を付して、出版しました。多くの人に知ってもらいたいために、本文化講座で取り上げることにしました。参加者は、中海・宍道湖・嫁島の景観美の背景にある、自然・歴史・文学・景観・環境への理解をさらに深めることができると考えます。

第1回 『華表美談 宍道湖嫁島』（昭和2年刊）の内容解説

田辺朔郎博士と献納石造鳥居、田辺博士の業績（琵琶湖疏水）と人間像

第2回 宍道湖嫁島の文学

- ①賢政上人の物語（嫁島雨乞い、嫁島ネーミング）
- ②増田渉による八雲作品の翻訳
- ③剪淞吟社の漢詩人たち…菅茶山、釋天麟、内村鱸香、森槐南など
- ④「碧雲湖棹歌」の鑑賞…永坂石埭作

第3回 『華表美談 宍道湖嫁島』（昭和2年刊）の時代と現代の松江

…当時の問題提起を今の立場で考察・検討します。

- ①衛生思想と松江水道…松江水道の恩人W.K.バルトン
- ②斐伊川治水事業、③嫁島と松江水郷祭、④宍道湖七珍と自然環境



田辺朔郎博士

